

## 今年もよろしくお祈りします☆

新たな年が始まりました。今年も長崎大学 PHN 研究会をどうぞよろしくお祈り致します。

昨年は、熊本地震がありましたね。地震災害はあまりないと言われていた九州で、こんなに大規模な震災が起きたことに驚きを隠せませんでした。皆さんの中で被災された方、あるいはご家族やご友人で被災された方もいらっしゃるかもしれません…1 日も早く穏やかな日常生活に戻れます事をお祈りしています。

さて、長崎大学公衆衛生看護学講座にとっても昨年はいろいろありました。まず、これまで約 10 年間勤務されてきた、助教の川崎涼子先生が 3 月末で退職され、現在は大分県立看護科学大学に勤務されています。また、新たに助教としてキット彩乃先生が着任されました。

川崎先生は、着任早々に大分にて震災に遭われ、避難所を巡回しながら保健師とともに活動されたそうです。災害時の保健師活動の重要性はますます高まっていますので、ぜひいつか PHN 研究会でもお話を聞かせていただけたら、と思っています。

## 第 13 回 PHN 研究会：卒業生保健師と在學生との交流会を行いました

昨年 7 月 23 日（土）に、第 13 回長崎大学 PHN 研究会が開催されました。

今回も、恒例となりつつある卒業生保健師と在學生の交流会を第 1 部として、そして第 2 部では卒業生同士の近況報告を行いました。卒業生は 6 名が、在學生は保健師課程履修を目指す 3 年生が 7 名参加しました。在學生は保健師課程履修のための選抜試験を直後に控え、まだ保健師課程に進めるかどうか分からない時期でしたが、だからこそ保健師として働いている卒業生から直接お話を伺いたいと、参加したそうです。

まず卒業生からは自己紹介を兼ね、現在の勤務先と担当業務について簡単に話をしてもらいました。4 月に就職したばかりの卒業生たちも、担当業務や日々の様子などをわかりやすく説明してくれました。在學生たちは、講義だけでは分からない保健師の仕事について、具体的にイメージを膨らませていたようでした。

在學生から最初に出た質問は「保健師採用試験に向けてどんな勉強をしましたか？」という内容でした。卒業生はそれぞれ勤務先が異なっていますので、それぞれの対策について自身の経験を話してくれました。共通していたのは保健師国家試験問題に早めに取り組むことでしたが、産業保健師の場合は、企業への就職となるため SPI 適正検査や一般教養の勉強も必要という話を聞き、在學生たちは「そんな勉強も必要になるのか」と驚きながらも真剣に話を聞いていました。また県や市町村に就職した卒業生からは「面接で就職先となる県や市のことを聞かれたから、準備をしておいた方が良い」「2 次試験は圧迫面接だった！」など、面接対策についても話もしてくれました。



卒業生の話を真剣に聞いている在學生

最後に「保健師就職試験は看護師就職の學生に比べると採用決定時期が遅くなることも多いけれど頑張ってもらいたい」と温かな言葉で在學生たちを激励してくれ、第 1 部を終了しました。



## おねがい

### 1. 同封はがきの返送 (3月末まで)

事務局では、今後の情報交換や勉強会開催、ひいては同窓会結成を視野に、皆さんの連絡先及び現在の就業状況について把握したいと考えています。つきましては同封のハガキに必要事項を記載の上、返信していただけますよう、ご協力をお願いいたします。

### 2. メーリングリストへの参加

長崎大学 PHN 研究会では、情報交換のためのメーリングリストを作成しています。

先の返信はがきにてご連絡いただくか、PCからのメールが受信できるアドレスを事務局（西原）までご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしています！

メーリングリスト：

[nagasaki-phn@ml.allserver.jp](mailto:nagasaki-phn@ml.allserver.jp)

#### ★事務局より

長崎大学を卒業し保健師として働く卒業生について、正確な人数を把握することは難しい状況です。臨床経験を積んで保健師に転職する卒業生も多いからです。保健師になったら、または同級生が保健師として働きだしたら、ぜひ「ぴかほし」事務局までご連絡ください！

皆さんに会える日を楽しみにしています。ぜひ顔をみせに来てくださいね。

第2部では、卒業生保健師同士の情報交換会を行いました。今回は、3月に卒業したばかりの卒業生保健師が4名参加してくれていたため、仕事上で困っていることを中心に、お茶を飲みながらの座談会となりました。組織（タテ社会）で働くことの大変さや難病の方への対応など、実践の中で日々感じている対応の難しさなどが語られましたが、教員や先輩である卒業生保健師からのアドバイスもありました。また住民の方とのやりとりや関係づくりなど、保健師の仕事の楽しさについてのエピソードも話してくれました。3月に卒業したばかりの4名ですが、しっかり保健師として働き、日々頑張っている様子を垣間見ることが出来ました。

また、中堅として日々活躍している卒業生保健師からは、マネジメントや管理に関する悩みについて語られました。さらに多職種と働くからこそ必要となる知識やスキルがある、といった話にも発展しました。平野先生や中尾先生からは、修士課程ではそういった知識を理論的に学び、スキルを身につけることが出来る。社会人入学もあるため、特に卒業生には進学についてもぜひ視野に入れ、保健師としてさらに活躍して欲しい、と話がありました。



参加者の卒業生保健師と在学生

#### PHN 研究会とは：

長崎大学医学部保健学科を卒業した保健師を支援し、ともに成長することを目的とした研究会です。PHNとは Public Health Nurse の略語ですが、「ピカピカ・保健師・なんでも話そう」との意味を込めています。



#### 長崎大学 PHN 研究会 事務局

住所 〒852-8520 長崎県長崎市坂本1-7-1 長崎大学医学部保健学科（西原三佳）

電話番号&FAX：(095) 819-7952

電子メール アドレス：[mnishihara@nagasaki-u.ac.jp](mailto:mnishihara@nagasaki-u.ac.jp)

公衆衛生看護学分野ホームページ <http://www.am.nagasaki-u.ac.jp/kouiki-kango/index.html>